平成 24 年 9 月 26 日

各　　位

会 社 名　日 本 上 下 水 道 設 計 株 式 会 社
代表者名　代表取締役社長　木　下　　哲
（コード番号：２３２５　東証第二部）
問合せ先　取締役広報室長　富　崎　浩　司
（ＴＥＬ：０３－５２６９－６５１０）

海外案件受注の件

当社の連結子会社である株式会社エヌジェーエス・コンサルタンツ（以下 NJSｃ）は下記のとおり海外案件を受注しましたのでお知らせいたします。

記

１.ミャンマー国ヤンゴン都市圏開発プログラム形成準備調査

契 約 先：独立行政法人国際協力機構（JICA）
受注金額：約 12 百万円
資　　金：日本政府資金（ODA）
期　　間：2012 年 8 月～2013 年 3 月（約 8 ヶ月を予定）
業務内容：ミャンマー国の旧首都ヤンゴン市は人口約 510 万人を有する同国最大の商業都市であり、急速な民主化の流れを背景として都市化が加速しているが、社会基盤インフラは老朽化が進み社会経済活動に支障を来している。このため本業務は、ヤンゴン都市圏のインフラ整備について、2040 年を目標年次とする中・長期的かつ包括的な開発ビジョンを提示し、戦略的なヤンゴン都市圏開発計画（マスタープラン）の策定を行うものである。本業務の調査項目は道路計画、鉄道、上下水道、廃棄物、電力、港湾及び物流、通信、防災、環境、景観等である。本件は、日本工営㈱、八千代エンジニアリング㈱、㈱国際開発センター、アジア航測㈱、㈱アルメック及び NJSｃの 6 社によるＪ／Ｖにより受注（約 4.6 億円）したものであり、このうち NJSｃは上水道、下水道・排水計画を担当する。

２．ミャンマー国ヤンゴン市上下水道改善プログラム協力準備調査

契 約 先：独立行政法人国際協力機構（JICA）
受注金額：約 33 百万円
資　　金：日本政府資金（ODA）
期　　間：2012 年 8 月～2013 年 8 月（約 1 年を予定）
業務内容：ミャンマー国の旧首都ヤンゴン市の上水道の給水率は約 63%、漏水率は約 40%となっており、水質面では給水の 3 分の 2 が浄水処理されていない状況である。一方、下水道では処理効率が不十分であり洪水による被害も被っている。このため同市では上下水及び雨水配水を合わせた効率的な開発が急務となっている。本業務は、同市において、既設給水能力 720,000 ㎥の上水道及び既設処理能力 14,500 ㎥の下水道システムの更新及び拡張を目的とした緊急性の高い事業計画を策定するものであり、上下水道・雨水排水に関する情報収集・分析及び評価、将来的なビジョン及び戦略の設定、マスタープランの策定、フィージビリスタディの実施を行うものである。本件は、㈱東京設計事務所、日本工営㈱、東京水道サービス㈱、東洋エンジニアリング㈱及び NJSｃの 5 社によるＪ／Ｖにより受注（約 2.2 億円）したものである。

以　上